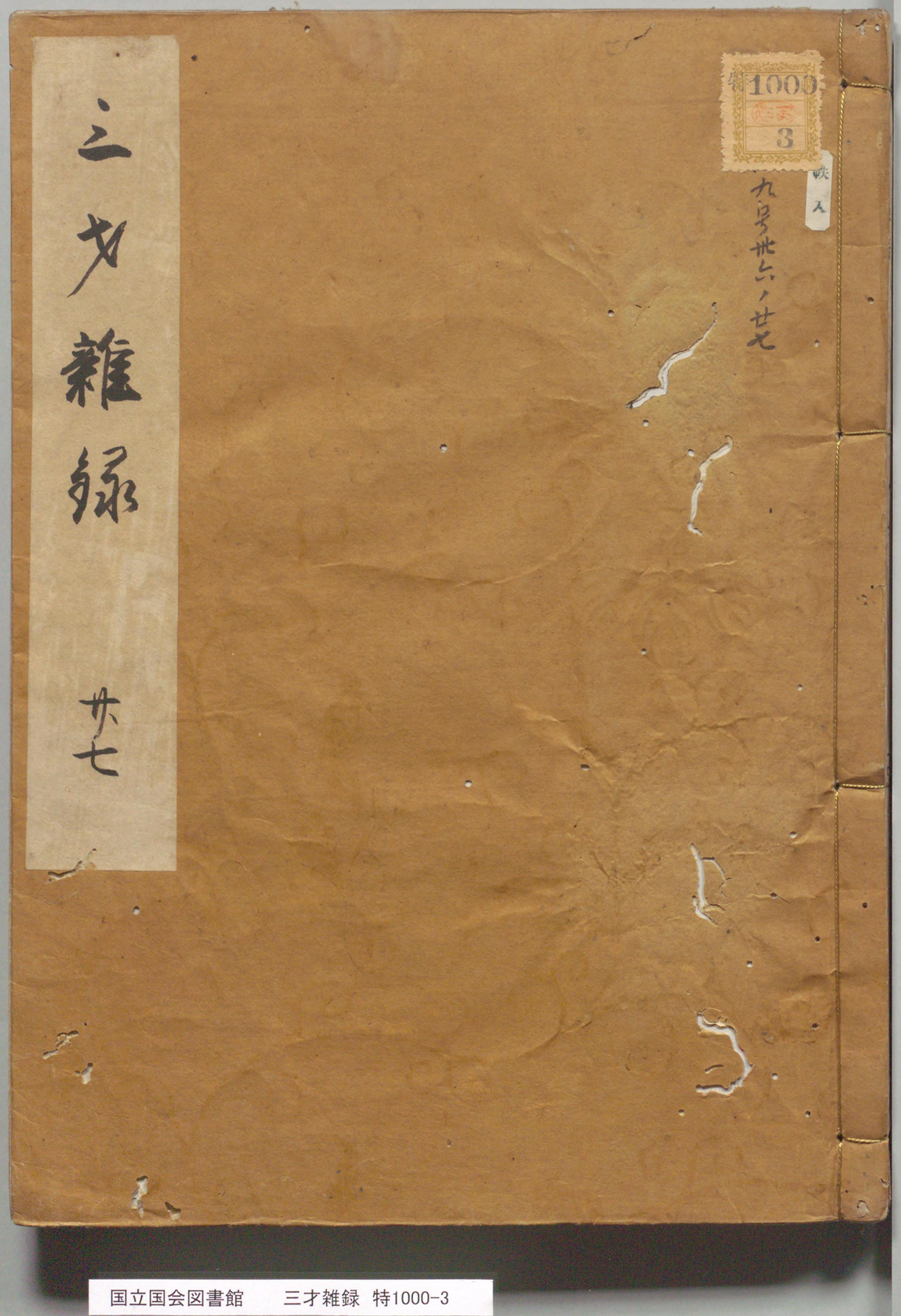

三才雑録
廿七
特1000
3
欠入
九号世六ノ廿七

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

特1000-3

三才雑録巻之十五下

慶長二
三月元日　台徳ヲ二丸ヨリ本城ニ渡御　秀頼
ニ謁ス
十五日　台徳ヲ秀頼ニ謁ス
廿二日渡辺ニ左エ門有綱死　五十八
廿三日松平下野守忠清死　三十五　廿八日
秀頼ヲ任三木忠吉ヲ四位侍従
四月四日南部利直卒四千七百余去月十七日
ヨリ和賀忠親カ居城岩崎ヲ攻
エ門宗玄後援ス大典寺右エ門七部長蔵是ヲ攻
討ツ白石カ先陣鈴木将監重信ヲ大典寺カ
陣営寺土鼻吉討取白石敗北谷地ヽ屋ニ引退
廿日城ヲ焼討四百八十余人討取忠親一人大森ニ

朽木文庫
朽木文庫

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

落行

五月廿一日豊国社へ一万石附ラル
二月十四日今川伊予守氏詮卒五十六　十五日
朝比奈権左エ門泰成死　八月下旬和賀主馬忠
親ヲ亡宗綱署ニテ大森ヨリ周介ニ招キ其夜士
蒲田宗現筒井喜介着座ノ人共殺ス
十月朔桑山修理大夫重晴入道宗栄死　八十三
伏見城ヲ守ル　稲垣重茂　清勝
成瀬吉右エ門正一　早部五右エ門定好　山口勘兵
直友三千石　岡田竹右エ門元次後大和　一万石ヲ与之
閏十一月二日仕府町大半焼
民治天庵卒　八十九　松平直政　十三日　十田サヌキ入道
十二月四日ニ岩舟改ム
伊達ニ宗ニ十二郡ヲ

加恩セラル本知八郡都二十郡之

桃生	牡鹿	登米	磐井
本吉	氣仙	栗原	志田
遠田	宮城	黒川	江刺

一色式ヶ村都二十一万石
伊具　名取
右之外宇太郡ノ内九ヶ村都二十一万石
一色式ヶ内愛長子左兵衛蔵勝　駒木根右近
利改山口重次食邑ヲ玉ヲ
治子将監高久幷謁　中嶋久平重好三州大
時ノ都ヲトメ彼地ニテ三百石玉ヲ
武田旧臣麻都武川ノ士十四人去天正十八年武州
鉢形ニテ顔地ヲ玉リケルカ今年甲州ノ旧地ヲ玉リ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

辛若親吉カ部下ニ属ス
二百石 折井市左エ門
百十八石 四斗 伊奈三右ェ門
五十二石四斗 曽根拵作
九十二石 折井長次郎
百十石 玄氏新兵
七十五石 山高宮内
八十石 青木子兵衛
都合千二百五十一石 樋口与平 大久保小兵衛
長安成願、十五石三成相原之内ニ而
百二石 七斗 八升 折井市左衛門ニ預ケラル

百十三石 折沢兵部
八十石 曲淵ノイ右エ門
八十二石 安雖民部
三十石 折井九郎二郎
五十石 有家三兵
百石 馬場右エ門
十八石 青木清左エ門

三月二日市註初
二日 台徳ヲ叙三位 十六日小野高盛拝陽吹
月宮卓義照死ス義久継
二月七日仙千代君早世ニ平岩主斗ケイニトス 九日三宝カ
仙台城造畢ニテ移ル ヨリ金千疋 台ヨリ鷲
ノ一ノ酉井八兵衛ヲ以テ下 十八日秀行臣梅原原
左エ門死ニ本松西城ヲ本山豊原安改一万石ニテ許ス
又命ス 三月七日福嶋ニ則四位右少将 十四日秀頼
ニ謁ス ノ 十五日伏見ニ還府 北日水野清十郎忠清
台徳ヨリ書院ノ下成仕隼人ニ 此奉行ニ岡崎ニ能
見ル松応寺市建ニ寺庄五十石ヲ下

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

四月廿八日ニ二條ニ渡御
二日女院御所ニ入御　三日
四日伏見ニ還御　岩城城請取駒木根右近利改
及那須流
二月十四日佐竹義宣羽州ニ行　七日朝加納城
築
彦根山普請之義板子支配ニ而ハ不叶ニ付
相促奸要ニ
精促奸要ニ
七月十五日　秀忠
井伊右近方ニ
八月八日菅沼二郎左門忠直死　其子同忠元
九日千本サヱキ守ニ親死　七十五大和寺守通其

又　二日加賀前左衛門ノ忠正死　廿二日忠勝士栁井
庄ノ助勝次子庄之助勝成業名ヲ出奔田中吉
改ニ仕其ノ鉄炮ト成元和元乙ノ奉仕
世日内変　古京進ニ成伏見定番加ニ千石都七千
名豊前ニ成
十月二日伏見市政ヲ改ル　秀忠
二日七千石ヲ
勝改　板倉内膳正　秋丹波ニ則重我ヲ古祐賀古
豊前宗隆ヲ市家人ト成
土月三日水戸ヲ千代王ニ王ノ
掛川ヨリ江ニ至リ　台ニ奉仕　二十日山村七郎
稲鳴ニ死　五十九　八日松平定綱

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

廿二日内裏改長加一万石 松平清定三卅三ノ
郡作千五万石ヲ
十二月二日松平九郎右衛門ヲ
忠利五百石ヲ 十二日織田左エ門信高死 信長子
二十五日佐倉四万石忠種ニ玉ノ

慶長八
三月十五日久能七千石ヲ三卿ヲ以テ
アヲ宗良光等改収ニテ宇佐二千石ヲ吉下ヲ以テ
家ヲ継ス二子丹波守
二月三日 公大坂発ニ因テ
五日伏見ニ還卿 十二日将軍宣下勅使廣橋権
大納言兼勝勧修寺三木光豊伏見ニ至ル

松平長三郎正久 松平五郎右衛門
勤ムル所直文但馬守松平伊三郎童勝大隅守幸井
壱万石文忠春豊ノ後寺沢改兵庫久幸勝三好久三郎ヲ改
越後守
四月十二日 公伏見ニ還卿 十六日上杉景勝室菊子死
山中法苑寺ニ葬ニ長光院ヲ号ス 廿一日公入洛
二月 台公ノ御妹君姫君入洛
七月三日 公二條入御 十日羊井駅庵利親死廿五
九月三日御葉典通死 廿一
十月廿五日三花宗茂ニ棚倉一万石ヲ授ケ益千
石五万石ヲ 松平三郎右衛門ヲ由童卒八十一 丹羽長重一
万石五万石ヲ 松平乙助忠直死長沢兵庫
久一宗二子二郎親昌孫ニテ上野介改忠賀ニ

ガラス使用

慶長九
歳旦吟連歌
春の夜の夢ともしらず候の机の
暁ちかう〳〵加もむ江の浦
一村の雨ともものこてて呼て

二月廿八日和州葛下郡布施村之 棄山於理太
夫一時卒 三十三才 左馬乃一連 二万石ヲ知ノ 改春
台云坂東内大社ノ分悪也造営且金峯山竜泉
寺ト寺産 三十石ヲ知ノ
四月朔日 云於伏見礼ヲ請知ヲ五位以上ニ時服一
重ヲ玉リ九十八人 十二日相国駿代官長谷川
七左衛門 銅卒 廿日秀康々参府
廿一日 云浅野 幸長才ニ入洛 松平一生死 三十五

七月廿五日大河内長三郎信綱九才ニテ奉仕
八月花房志ナ正成ニ備中根掛八千石ヲ領
領銅ニ同成羽七千石ヲ知ノ
閏八月三日松平清蔵親定入道念誓死 十四日
神君東武ヲ下ラル九月十四日井上半右衛門清秀
死子太左ヱ門重成 秀康々ニ仕ニ六半九寸ニ乾
二十七日云伏見ニ云門 廿九日也田雅一改才二
入洛 十月廿九日伏屋左ヱ門死
十二月十五日柳原伊予守忠次死二十七

慶長十
正月五日京極忠高叙正五位下侍従
二月五日云駿府出洛 十九日伏見ニ入洛

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

三月廿九日 公云参内 四月五日金森法下ル入
内 四月八日 云二條入内 十日 市参内 十二日勅使
廣橋兼勝烏丸中納言光豊宣命使 西洞院少納
言時直弁 八木川坊城左中弁俊政告使 保科孝亮
外記 八中泉師生官務 八小槻入内 廿九日 垂井五郎作忠家死 五十七
五月一日諸大名拜礼 二日申栗 四日同
八日平秀信死 二十二 十一日忠雅々大坂ニ行 五十九
十八日佐橋甚兵衛吉久死 台云ノ師
二月十八日加賀利長致仕 廿二日 花房越後守心
幸死 八十二
七月五日伏見本丸作造 廿日江濃勢尾三ノ
五ヶ国供水 廿一日 云二條移市 八月東国水

八月十二日 云伏見還御 廿日山内忠豊
九月十三日 秋田安生の住城ヶ
年二十 廿五日園城寺城入内 廿二日清水城入内
十月一日中泉 七日渡ア原次沖綱卒於郡州入
間郡 七十九 廿八日江城若御 十七日田中
三十 廿五日菅沼定仍卒
十一月二日始テ内書院書院四組置ル 須八水野隼人心
内変若狭守 青山伯耆守
松平越中守 十日云鳴巣ニ遊獵
廿七日云忍川越鳴巣ニ市狩 廿日台云帰御
廿五日云江城入御
十二月廿二日伏見有馬豊氏宅出火 御主 秀行
伐野長政松平忠昌房、坂 平分石川忠総大久

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

保長安枝倉勝童真田信尹遠山民部家未焼亡

慶長十

二月五日義直頼宣二位下　十九日江城廷始ノ
事　松平利隆同忠弛　福嶋二則加爰清二同一嘉
明黒田長政細川忠利　京極忠高同高知佐野長
晟松平一豊有馬豊氏　鍋嶋勝茂森忠政寺沢
廣高木二爺ス
廿日田中吉政子主膳近来乱心家臣五十三人手
討ス今日又手討ニテ却テ殺サル二十キ之
二月八日　公二宗務田秀　二隠序江府ニテ一万石
五ノ　十九日台公同隠序
任左京大夫　廿五日那須資宗

三月朔江城廷始奉行佐久間門次寺正実
三日松平長九元服三川守忠直四位少将
廿日公駿府ニ赴キ　桃
ヲ五ノ公鉄ヲ守ル　梨東七帋奮つ久政三千石
忠政寺ル之　長二ヨリ大久保弥三郎
四月七日　公伏見ニ入帝
ノ廷始ニ宗奉之　廿四日赤井刑部少幸
家允　廿八日　公八陌ニ帰
板ト成
五月一日榊原久政死二十一
西郡弓務厩長久長将孫　廿三日長見女
廿二日堀秀治卒三十一　松平若狭守忠

伏見加番メリシカ不行跡ニ依テ役収五左エ門
近江ニテ
七月八日忠吉王臣ヲ等泉監物忠直ヲ奏
和泉寺貞朝孫和泉寺吉次ヲ仕物坂田郡
長濱城ヲ修理ニテ内後信成ニ王ハルヘシト命
表法下以下ニ命ニ王フ後長束カ所ニ
ヨツテ清田長守信成天野周防守雄光稲
葉甲ニ守通廣寺尺半左エ門岡田平ニ役収セ
ラルル織田左門ハ有年カ家督ニ立ヘカラス太田
孫女資宗七歳ニテ云ニ拝ス
九月七日三州大樹寺ニ准シ蓮誉
上人ニ論旨ヲ王フ
冬ヘ河四大樹寺為勅願所須開真

宗行通之玄門衍
論命如此仍執達如件
慶長二年九月七日　　宝祚無疆之丹精者
二十一日云東国ヨリ下向
廿三日江城造手
台云寺移住ツル千代ヘ常州河内郡下妻ヨ
万石王フ後堂高虎伏中内二万石王フ
十一月四日云江城云ヒ門二日栗名城下ヘ
十日堺久太郎元服号松平越後守忠俊
廿一日云川越ヨリ狩伐野長政居料トメ常
州真カヘ五万石ヨリ狩伐野安知郡内五千石王フ
十二月二日台云古河下妻佐竹筑西巡見里見

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

忠義仕侍從　廿三日ニ宗女忠輝ニ嫁
太閤ノ大改所高臺寺建立　松平周防康重
臣岡田大和元次子内記元勝市家人ニ入何某
号カ不神尾五郎守世カ弟ト称シ石出サル
林又三等信勝武州ニ下向シ台ニ拝謁

慶長十二
三月朔　ムノ娘君生ル毋遠山孫次郎直景女
ヲシ
十八日加藤清正子人質トメ在江戸ノ所早世ス九
廿二日忠吉君尾州ヲ発ス
廿五日ムニ駿府ヘ退隠シ玉ヒ為ニ役城内ヲ廣ク
注栄セラレシ為猶川豊前守忠往佐久ヲ

門内寺改実ハ本新立寄ツ
校此者ヲ昌吉ヲ奉行トシ越前尾張美乃三州遠
江ノ大小名ニ令シ役夫ヲ出サシメ来月十七日事始
有ヘシトテシ
二月二日忠吉卒府居宅ナキ故大久保忠常カ
芝ノ邸ニ入玉フ　十三日江戸本丸ノ間ニテ
観世今春勧進能ヲ興行ス　廿日右ノ弥ニテ
幸敬アリ　廿四日平岡石見守頼勝死ス四
十七　廿九日ムノ相州中倉ニ故ス
三月朔　廿九日ムノ相州中倉ニ故ス
テ敵国トテシ　二日忠吉主近臣石川主馬吉信稲
垣将監忠次殉死　十七日小笠原監物殉死
廿日忠吉主葬送アリ　廿一日朝鮮信使京ニ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

四月朝鮮使伊達上松最上佐竹越後ノ領内
村上ヨリ以仕城ノ天守ヲ往営其二重目ハ三宗
一人ニテ造之　十二日蒲生秀行二松平氏ヲ玉ワル
廿八日西日秀行カ勇二渡御
閏四月二日朝鮮三使及上ノ官二人上官廿三人
中官八十四人下官五十四人都テ二百二十九人出京
湖東ニ到リ　廿七日秀康ノ家督ヲ忠直ニ
玉フ今日駿前ヲ発ス久
伏見松丸ハ葵長二ヨリ市譜代ノ臣文替メ
守之治アサ水野右見守忠貞名古屋九
八日下部五人ノ定吉仕雪曲陽ハ成瀬吉右衛門
三一井戸曲陽ハ松平豊前守勝義戸田

又兵衛直頼常曲陽ハ小笠原治右エ門忠次守
之真外大須賀五郎兵衛真定ハ長田喜兵衛信
武中守ト云
五月二日朝鮮三使仕城ニ登リ拝礼ス
十一日秀康ヲ浄光院ニ改葬ス　十四日朝鮮
人賜暇　廿日駿城天守臺拝ス
廿三日駿城天守臺成就始
七月三日天守臺成就ス　公御後徒江戸ヨリ
御使酒井右京大夫忠世書山幸成来テ奉
賀作ニ依テ忠世雅楽幸成改大炊ノ
頭　禁中ニテ勧修寺大納言光豊ニ倫命

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

アリ三入川内守康善ヲ以テ使ヲ田ノ今日勅使娘治ニ至ル
八月三日高力忠房身侍十郎三童死十七
四日若舟城ヲ上虎之助正次ヲ以テ白銀五百枚
五ノ十二日大番以水野帯刀近勝渡辺義
伏見城ニ至リ守之番以八一年ニメ番リ仕番
廿八廿四日ニテ松平安中ニ至ル
江ニ下向忠吉ノ後室上州十四日江城西丸ニ居ル
十月四日ヨリ駿城ヲ出テ黄金三百枚白銀一万三
台ニ仕舟顔西丸ニテ
千貫目ヲ秩進十八日西丸山里ノ茶亭ニテ
ムロムラヲ以テ餐宴アリ廿八日ヨリ本城ニテ

秋見加番岡部長盛十箇条信之
十一月朔ヨリ江城ヲ出テ浦和忠川越ヲ廻リ狩
廿七日今川館以京ニテ死三十八此月大須賀
五郎三郎ヲ召テ大須賀国光後見トメ横須賀ニ
在城シ家事ヲ申付ヘキ旨命セラル忠政ノ大
叔又大久賀一徳斉ト武蔵一万林斉ヲ以テ光
トスヘキ旨ノ服部一郎右衛門保英死五十三年寛正成
カ子三州高橋ニテ命ヲ須セシ帰平保後ヲ
十二月十二日ヨリ江ニ還府同日稲葉蔵人通
茂死三十六廿二日ヨリ駿府大奥ヨリ出火本丸焼
亡廿三日竹腰十傳次政信カ二丸ノ宅ニ仕移

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

廿四日本多正純カ二丸ノ宅ニ移ル

慶長十三
三月朔日食　東武ヨリ名代酒井左エ門家次十五
ノ女三四郎廣宣坂ア三十郎廣勝屋敷ヘ入聘
勝吉覧取太夫三重未横次賀ヲ退ク八人頃
賀五郎兵衛ヲ恨ル為ニ
二月三日太田善太夫吉勝ヲ　廿四日　ノ放ル
駿府本丸土棟　十八日　台ヨリ仙石大改茅ヲ入ル
野新馬寺童英　一万石ヨリツル君ニ
信吉五千石ヨリツル君ニ　十四日
駿府ヘ移ル　三月十一日　又十三日至又十八日家忠

五月朔日一柳直盛神戸ヲ改西條二万八千石ヲ
百石ヨリ内五千石八二男直重ニヨリ八日駿府ヘ
廿日筒井役収
七月朔日本多忠政松平忠告井伊直勝伊賀
国請取　十日上野城請取　十七日嚴山ニ而茶亭
ヨリ廿二日井伊直　上野ヲ守リ松平本多八帰城
ヘキト令セラル　八月朔日駿府ヘ　二日発
井雅庸ヘ印章ヲヨリ　十八日駿府経営ヲ賀
セラレ禁裏東宮ヨリ進献アリ　台ヨリ云々
正賀市太刀馬市給三十市茶物十市帷子十献
其外秀頼母付奏越後越前屋堂本多大久
未酉井土井未献上物セラル
廿日天守工棟中井大和勤之

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

天守七重 上ノ一座四間二十二間二八三八四十
五九二
十一二十三 七月
九月三日 名云市下向 十八日帰京 十月十九日土
攻越前守頼元死 十月五日奥平信昌建仁
寺ノ塔中ニ天昌院ヲ建ル 十二日竜口秀行宅ニ
入御
十二月朔二月比 国千代主内爰仁兵衛 天野伝兵
大河内金七郎加爰 新カ御小姓三永井主膳秋
田三平 橋本吉平 伊奈半之助 依野三四郎ヲ附
ラル 二日ニ江城ヲ出御 八日駿府ニ御
廿四日佐奈監物重成ニ五位下ヲ授ケ
従人作右ヲ衛成ニ改ム 三浦
遠宮内ヲ法下ニ任ス 毛利秀就賜松平氏

慶長十四
二月四日江府本町出火
放焉 廿五日 美利和ヲ清須ニ入部
廿五日元服 忠勝ト号
二月廿九日中坊秀祐殺サル 三月山内一豊
女御養女ト三細川忠利ニ嫁セラル
三月四日尾州老臣富永丹波子雅楽介戸田加
賀信光松平摂津守秀勝同石見守ニ属ス
法ノ罪ニテ改易越前ノ土屋左馬介主度介忠
次大野四万石没収小栗土斎 廿三日 越中富山城火
十二日高野山火 廿五日 越中富山城火
廿五日爰堂高虎伊賀ヘ 伊勢廿四万三千石ヲ
廿二日筮間堵主水筮奉 泉和泉守吉次ヲ没収

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

四月三日輝政薨ス三子アリ皆幼ヲ以テ駿府ニ下ル
四日松平利隆ヲ生ム新太夫ト云
十七日ニ台ニ江府ノ友堂カ宅ニ於テ
此月青山因幡守宗成ニ命シ和州ノ井戸若狭
守良次ヲ召テ其家人トス
二月二日岡野江雲死ス七十四　廿五日甫生原左エ門
今成ヲ除キ三奉行ヲ喜聲ス　貴大夫ト等ク離散ス
七月十二日上田無庫元俊死ス八十一　十四日池田左京
亮信好死　十九日宇都宮城主奉行ヲ
八月三日服坂安治勝氏奉
十二日伏見在番松平丹後守忠重改加番ト
九月廿一日太神宮ニ近江国伊勢ノ
廿七日外宮同

同日忠輝臣山田ヨリ松平サヌキ管中ニ右ヲ
生害セラル長門ヲ因幡ヘ備ハ松本ヘ配皆川又ヲ改
易松平庄左衛門清直蟄居
十月二日中村カ臣居ヲ主膳ト
美ヲ倉敷田四人直矣ト
朝臣木行跡ニ依テ猶以教利死刑大炊助
待従頼岡松木ヲ将宗陰ハ硫黄鳴ニ流刑
忠長ハ蝦夷鳴ニ飛多井ヲ将雅賀ヘ陸奥ヲ
将宗勝ハ伊豆ニ兼保俊中守死刑烏丸光広徳
大寺実久ハ飛免官女ハ人丈鳴ヘ流刑
廿二日ニ駿府出御　十月五日還御
十四日一色宮内少輔直孝卒七十二五千石ヲ次男照

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

直先達テ死去ス直為相續
廿二日牧野康成死去十五
三月十五日駿遠ヲ移宣
刻ハ皆悉ク頼宣ニ附ラル　十二日水野重仲
領松ニ移ル其兄佐渡守分長モ假ニ佐城ニ移ル
廿二日水戸ヲ頼房ニ玉フ
松平信吉二子元服　廿七日山口長次郎重信
任伊豆守　廿九日戸沢九郎左郎改盛　左ヲ鐫
九一枚直重　名医五位下

慶長十五
三月朔　台ヶ所名代大久保加賀守忠常
二日秀頼使伊東掃ヲ参ラ　治時　九日公卿申

城ニ渡御　廿四日中泉ニ渡御
二月二日白中ニ還御　四日駿府ニ還御　廿日
台ヶ武江出御　廿四日駿府ニ還御
越後城ヶ清東
石川康長　条梁川松平
出羽守清直　宮川玉千石山田隼人村
松花井遠江ハ松代ノ城代

閏二月十三日　乙ノ姫君卒三文女大田武庵女
台徳ニ所ニ御狩　廿七日羽栄下総守勝雅卒
三月朔伐野右兵衛佐長晟新地彼中内二万四
千石玉ノ出信乃守上総内二千石玉ノ
五日台ヶ駿府ニ参賀　十一日勅使勧修寺前

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

大納言光豊慶長前大
是来年卿譲位之有旨
廿二日井上太左衛門尉
右三ヶ之房二男領五千石
四月十四日 ㊀宗江府ヨリ駿府ニ至リ拝謁廿一日景
勝参府
二月十八日喜連川左兵衛智晴氏死
七月十九日諸卿里野ヨリ伯卿来子ノ加刻卿今
尾ヨリ伯ノ三条ヘ市橋勢ノ亀山ヨリ伯ノ里坂ヘ関
十日立井利勝一万二千石加
石 廿七日加四万石松平忠次二万石井伊直孝
去ル十一日大風春日郡木二千本メテル
八月二日大田重次死五十 八日琉球王駿府拝礼

大納言通勝駿府ヘ趣ノ
音ニ
任治守黒田長政カ臣九州
ノ駿府ニ至リ拝謁廿一日景
加刻卿今
関
信カ二万石
伊直孝

九月廿四日掘井アキ信次死
祐直入道一斉ヲ駿府ニ召ス
十九
十月二日台ニ大久保忠隣宅ヘ入来 九日駿府出
犬塚卿後寺早ク是ヲ頂ス後日濃州多芸郡
信州皆井ニテ一万石加恩セラル都合万石ニ
十四日 ㊀駿府出来卿松平忠ル加千石 十五日大井
左ニ嫁昌久死五十七子長安ヲ召ス 廿日ニ小田原
若卿 廿一日武州ヘ下ル 台ニ出対顔
廿三日 台ニ上意ニテ放鷹
大河内休心市家人ト
戌
十二月十七日青山忠直後任伯耆守
廿五日本多忠政家督ヲ直ル
廿七日ニ江戸出府

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

輝政ノ士青木次右エ門丁直市家人ニ列ス

慶長十六

三月朔　台公市名代阿井家次拜礼

二日秀頼名代大野主馬治房拜礼

三日江府竜口備主秀行宅ニ火他田輝政類焼

七日　二田中ニ放鷹　九日中泉

廿日江城北館ノ饗及連歌山里行

吾隊雪ケよ　ちやや屋の松　詔之

妻の翔ぶを　時

きゝめを笑百枝ひの春の夢　吉仲

廿三日吉良義弥叙四品

二月九日稲荷一宮死　十九日竹ア童吉死

三月三日須ア仁兵衛康綱死二十九　二日云

廿市　十四日頼名十吉つゝ三勝死四十六　十七日

伏見入府

四月二日云西三木チ大坂ニをシ秀頼ノ上洛ヲ

射セラル　三日云伏見ニ須府

四日勝ノ方ニ命シ御外孫女輝政女ヲ以伊達忠宗ヘ

嫁スノ約アリ　五日二条ヘ還御

七日浅野長政野州塩原ノ温泉ニ卒　十二日郎位

云拜見アリ　上皇ニ云田ヲ附ラル　社寺裡造営ノ命

アリ　十七日内裏ニ於テ慶長改元　十八日

云駿府ヨリ帰洛　廿日柏泉　廿一日改皐

廿二日加納　廿三日熱田　廿四日知多郡師崎ニ市舟ヲ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

ツナリ　廿五日三卅屋天郡幸吾ヶ吉田市治
廿二日中泉　廿七日田中　廿八日府城
五月七日幸松丸生ル武卅定之郡大間木里丸北
茶臼臣邦野氏　十七日塚尾吉晴卒
七月三日仁戸井伊直勝宅出火　柳泉康勝教大
八日徳永石見守昌時入道式ア々法ヤ寿昌卒
十日仁城造幸稲田
十二日大友義延卒　早　盗賊九十三人　細井金五衛
八月三日常卅下野ノ盗賊　九ヶ所ニテ召捕　梟首ス
久永陣兵衛服ア仲カチニ召捕　梟首ス
十日板倉重昌禁裏、造営奉行トシテ上京
十二日伐野長次防府領、真壁五万石来女長次、
卅ノ

十九日會津大地震二千百余死
廿四日加爰ヽ松平肥後国市日府
平礼石谷ヲ勝成ホ氏瀬之忠二童
廿六日阿ア二次大書ス　ト十リ伏見在番
九月十日台君姫君土井利勝公之
十八日姫君金駕　廿八日姫君越前ニ君忠直
ニ嫁ス
十月朔駿城鉦音畢山梨ヲ吟言緒冷泉侍
公為満舟橋式ア秀賢矣向
三日加爰ヽ松肥後ニ下向　二日ニ急卿　金森
五垂八卒五十二万石没収　七日善徳寺
九日ヤ田泉　十三日爰ス　十日中泉
十九日

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

越前ヨリ土井利勝帰府　廿四日公本丸入御
十二月十三日　宗二子虎菊元服叙三位下松平
若狭守忠宗ヲ
十二日　久留嶋若狭守依康親死三十一
但馬豊岡城主　松平伯耆守長房ニ常州新治
郡小栗庄五千石加増　大久保仁九郎西公ニ始謁
二万石ヲ　日根野高吉加一万石

慶長十七年
正朔　台君御使本多忠朝　竹千代君御使
神尾守世　同九御
太刀馬代ヲ献シ拝礼　林左近大夫忠篤使ス
二日　秀元使蔭田隼人兼相馬代金百両捧ク

七日　公田中ニ放鷹　十四日吉田　十五日吉良西尾
十六日　台君使者吉山岡書分童成吉良ニ至ル
十九日　岡崎　廿二日諸大将寺　廿七日名古屋
廿九日岡崎ニ於入ヲ
二月十一日駿府還御　廿三日岡本大八有馬直
純ト訴論
三月十三日　台ニ出駕　十七日駿府入御
廿日甲州東郡辻村ニテ辻弥兵衛盛昌入道一
来斎卒七十五　廿一日大八火罪ニ行ハル
四月十日　台ニ駿府出御　十四日今川氏真入
道京ヨリ下向　十九日天海仙波喜多院ニ赴ク
寺領三百石ヲ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

廿八日有馬佐理甲州都留郡ニテ切腹土攻定吉大
普以
五月朔平若親吉身金左エ門親二卒子金右
エ門二當　三日增上寺ニ千石寄附　四日(イヨ)(ニチ)仁
府竜口越後ヲ將宅ニ出火
二月二日松平康長笠門ニ移加一万石十笠原
信之古河移加一万石　十九日飯田左馬介負改死
八十四　廿五日於江府蒲生秀行遺領子亀千
代三五ノ男松平下野守忠々才ツル松九男中務
太輔忠知　廿五日大鳥逸平反其黨七十余人
下獄　七廿四内変信成卒
八月十三日輝次駿府ニ来　中川秀成死

十二月十二日　来春禁裡仙洞築地作造普ノ役
割アリ
南方
景勝　二宗　義光　二叶　忠照　幸長
義宣　未ダ忠改　里見忠義　加爰ヒ松
南ア利直　奥平忠昌　松平忠政
松平忠治　井伊直勝　奉多忠政
西方
越前忠直　輝政
北方
秀頼　尾張
生駒二俊　寺沢廣高
東方

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

秀就　長政　高知
至鎮　高虎　勝茂　忠晴　嘉明
吉政　鳥居　忠政　忠豊　豊氏
高田知治

慶長十八年
三月朔日大風雨東御使左ニ門尉家次
二日大風秀頼使速水甲州持之
八日山口修理亮重政子伊豆守重信改易却
卅入間川辺閑居ス
二月廿五日加爰し松御一字ヲ以五下
廿二日台云市乱毋国ア局死
三月朔十五吉改元四十九

廿日播州市川付安爰重信村越茂介直吉
四月四日忠輝々敦府
千献之　二日本多豊次
十三日前田利光女生ル　石野新左衛門尉光允
二十二日子ニ庄ニ門尉ヘ次
廿二日板倉勝重冬府　忠次ニ廿五
五月二日朱津清右衛門尉ヘ次
喜三郎勝久　二日長氏安子廿二爰十廿外記青山
権之助重成養子　運十郎内膳右京大夫ヘ諏ス
十一日中院宗右衛門尉秀政子秀以後左近　南都奉行トス
十九日本多丹下成重死　廿七日安爰村越帰府
七月三日禁中並柱立　廿一日松平忠左衛門

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

勝隆為大番久、廿二日伏見在番仰ア我井
伊直孝加番松平信吉植村泰朝一条宮内
直氏　十月朔里見讃岐守義高右手
改易　十八日伐野長晟家智ヲ玉ノ
廿四日高松長行改叉棚倉ニ死ス
十月九日佐野ニ銅鑊居ストイヘ氏早速市免
三ヶ年ニ拝領　十二月十八日主上新宮ノ内裡市
移徙　十九日大久保忠隣上京

慶長十九年
正朝　公従去ル比城西丸ニ市滞在市礼在之
台君ヨリ市太刀寺家市馬代白銀千両ツ

献之大沢基宿拉蒙之使
重義喜多見長五郎重勝内度掃部介
市敢松平正綱作加水野忠清
二日秀頼使薄田隼人
忠雄々居城福島正則ニ移築之地度高田へ
へ十キ北国出羽ノ諸侯ニテ仰付　廿一日土田
卓城清度本多忠朝高力忠房松平定綱牧
野忠成伐野長次　在番松平丹波守
此日　公市発駕　廿二度ヘ
廿四日和田泉　廿五日　台公和田皇入内前駈
安度信古ニ門ヲ出使ト三シ明日ヨリ當城ニ三九

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

ヲ破却スヘシト命ス　廿七日三嶋　廿八日吾徳寺
廿九日駿府還御
二月五日青山宰成才朝比奈孫三郎泰重森
川内猶大久ホヤ一郎忠辰同半次忠當日下
ア河内ホ改易忠隣事ニヨル
七日宇都宮朝房ヲ松平忠昌ノ臣トス
廿二日松平長廣ヘ仕志ア尹寺　廿七日芳伝定芳
仕織アニ
三月朔佐野ニ綱居城事伝山ヲ破却スヘキ
旨命セラル　二日勅使廣橋兼勝西三条
実條及廣橋兼賢日野弁光葉室頼孝
季徳高倉永将永茂
東武下向

七日松倉カ使到来當春加賀臣律ヲ、連高山
内匠知安細川カ臣カ（山ヲ奪ヒ二ヲ治ニ返ルヲ外
百七十余人入獄スト云
二月十五日今日ヨリ高田城、築始直寧
朝伊賀守利重八千石没収不経工試督姻ス
ル故ニ右ノ如ク教隆主膳章信川越ニ謫ス元和
三教隆律膳章信ハ南アヨリ帰ア日々召収サル
佐野ニ綱又ヲヘ備中外記常吉ヲ以松本ヘ
配流ノ由命セラル
四月三日高カ河内守長次死二十三
八日江城往始　廿二日他田佐渡守知次没収
又ヲ三人福知山ヘ配スト荒木村重カ族久左

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

歩つかまつる　廿三日牧野伊予守成宝死　五十九
遺領二千石三男佐三成純千石四男源ヶ成
常ニ五ノ嫡将監成信二子宇右ェ門成延ハ世田
家ニ仕ノ　廿二日千筥ノ原信之死　四十五
五月八日　台公御名代酒井忠世今度右府
御時任ノ御賀トメ御進献大刀長光御馬黒白
銀三千枚　十日蒲生家人岡半兵衛重政
外他住乃良重退ノ故ニ召ノ々妻ニ陣川
城ヲ五ノ原左衛門々成ヲ招迎シ三春四万五千
石ヲ五ノ　廿一日他田越前守重影市家人
ニ列ス為尼　埼郡代下河内守宛ヶ重政入道
法橋仲之乃子ニテ拵案　使ト号　薙改姪トゞシ

廿八日明智ノ遠山民アヤ死　八十
二月　十二日蒲生郷成ノ賀川ノ駅ニ死人真
子原三郎々喜三百石名　二子原之忠々舎一万五
千石五ノ
城井弥左ェ門季房去春ヨリ松平忠昌ニ
附属スル処今月十四日　ニ拝領上ゲニ
田名宇都宮ト号ス祖治ア太補ニ倒ヲ例
ヲ以切ヲ扇ス上ゲハ治ア太ニ任セラルヘキ旨宣
ヘ治ア左面ツト称スヘキ旨命セラレ家伝ノ
射法吉辰ヲ撰ヘテ市相伝ナルヘシトテ国俊
ノ刀金三百両五ノ
十七日織田先丸死二十七　十九日福嶋正頼

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

八月二日東海道大風
雨つゐに入道一寄カ福寺
嫡ふハ集人二男八内蔵
千石　廿日安房国清取内変改長本多定
朝松平康長並田信吉西々延貞日根野吉明
那ハノ者共三十二万石ノ高役ヲ以をサル
廿一日龍泉寺二千章ヲ五ノ
雲厳寺今変改号龍泉寺ヲ定仁国豊田
郡来作ヲ以ノ内三十石ヲ斗即チ化現
本寺附ラル山林竹木寺中諸役ヲ免許

九月八日成瀬吉尼

廿二日於東武前田利常化古ヲ将
十月二百里見ヲ義ヲ伐ヲ討ヲ
ニ来大服ヲ東来ヲ安ニ
ヲ変伐人ラ候ヲ落ヲ退ヲ
非ヲ本ヲ四ラ之ヲ尚ヲ
十月七日　廿　直利
行相市ヲ
ヲ

行年勅ヲ修造ヲ
芸長十九年九月廿一日　所ヲ
宗山　龍象ヲ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

汁桐ヶ使 陽元之助 賢庵 梅戸 中助 二明弦ヲ
玉ノ 山崎家盛 陳之左ノ通ノ所家ヌ

慶長二ヨリ同二十年ノ内実録ニ出ヌル
ヲ要略シ一冊トメ譽ニ写置シ今又一書ノ
中ヨリ旧冊ニ係シ件ニヲ抜粋スルモノ右
ノ如シ

築田兎九師ト云ハ則強ノ士長剱ヲ好ミ井伊直
政ニ拠テ可望シ 神大君ヨリ羽州月山ノ鋭
剱ヲ拝受ス時ニ尊翰ヲ係テ場ヲ
もらいきり三尺ニ寸月山刀日比弐方重

[illegible] 百ヶ代ヶ 仕ヶ 米國ノ英帝
八等をゆさいる 拠物 係ヘ 係ヘ
まゝ次を奉ぬふ 表ヘ おる おそむ
ヤとくれきて 被ヘ 被ヘ
さきくみて ちゝを ちゝて
兎ゝ 武士は
つゝもいます 師到
角ゝ 兎ゝ
右

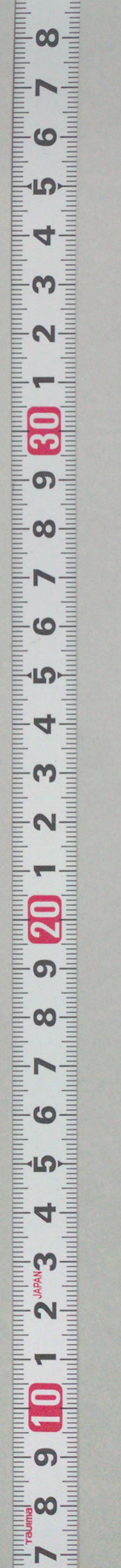
千時天正十二年ニ

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用



北尊牒及雄劔 負言ヲ元甲子松平越前守
綱通ノ臣梁田大炊大夫傳来之趣
常憲公ノ台聞ニ達スト云ヘリ

江城御本丸御座敷画師筆者

表御霊屋 松竹
大廣間 松鶴
天井錦敷門上段
南北松戸 風凰 探幽筆 東北松戸 西王母

奥ノ間 松ノ図 不松ノ図 松鶴ノ間
北西松戸 犀ノ間 同麒麟 獅子ノ間
猴蟆 仙人 書院同 尾
千寿寿 鏡 北松戸 孔
松鶴 天井桐唐艸
佛之家 弥陀
阿白ノ虎 鉄仙 梅

北松戸 雁 承 北上下段 帝鑑ノ間 人 北松
戸 鶏 雛 ノ間 西若 松竹ノ間 啓扶掖ノ間
桃ノ間 不 北次 帝鑑ノ間 東 壁 棲 不
緑北棲 塚 未書林 北松戸 猫 犬 狗 ノ間

市連歌ノ方　杉檜
市隠頭巾壁隠　杉檜　書林
市里書院　山水　探題
市松戸ノ方ノ警ノ間　王昌雲ノ間　同東籬
籬ノ間　市代西湖ノ間　松戸張果老ノ間
同竹虎ノ間　笑ノ間　同ノ間　同桃ノ
雪ノ間　同不識ノ間　雪松書林　市松戸竹ノ格
探題　市雁ノ間　竹ノ廊下　下雪ニ竹書林　市松
戸雪末冤探題
陸ノ間　陸ニ橋　書林
山吹ノ間　山吹　桐雲

同不小壁山ニ橋　桐春
中ノ間　ハメノ市松戸杜ノ郷
竹ノ方　竹ニ雪　海北
芙蓉ノ間　芙蓉ノ雪　友雪
市松戸檜ノ間　杜若ノハメ　休園
廊ノ方　廊
蘭ノ方　蘭ニ蘭
市松戸虎ノ方
桃ノ方　桃ニ燕　休伯
探題ノ間　柳雪
春景　柳雪
廊ノ間　客ニ廊

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

紅葉間　山ニおく
市村戸　竹門人　茅舎
秋ノ野
桧間　桧
市村戸門弟
柳間　雪柳
市村戸白雪門人　同柳子門人　阪市村戸　象見人
遠待上間　雪柳
村戸柳子　裏朴
厨上ノ間　花雪
上阪四花　七賢　十飯二ノ乃九老
裏朴

西之丸
表御番所　松竹
大廣間
梅信
探画

壁山吹三ノ乃雪柳警古系
虎間　竹虎
藤枝間　藤枝
市村戸門弟
遠侍二間　柳子　杜丹
大式臺　竹二虎
裏朴
永真
表御番所
永真
妙門

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

南面西方庇廂
柳多面車寄ノ向
同柱丹同人私ノ面廊
竹ニ猿採画

竹三家舒屋　梅
竹白与院　　椿

面松戸廿半同人面上座
可面広帝臨同人

桃堂

同南附鞍同人同西萩苑同芙蓉同人

芙蓉垂犬　承叔

同面床旋鏡同人同仕切竹舒同人同乗浪ニ
暗同人同面家頻梅実
梅同人同可鏡同ノ四季ノ花同人

山吹間　山吹

面松戸芙私山吹同人
山吹同人

房写　房

面松戸雪芦同雪柳
芙蓉間　フヨウ
御堂間　ツヽシ

柳雪

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

検閲　　七ノ末
　　竹村彦一　雪二検印人印検二百余印人
　　竹内好紅　竹島市松　梅竹
　　竹村彦右衛門
　　柳二閲　　柳営
　　竹村彦　牡丹印人印
　　竹ノ子　竹
　　蘭検ノ閲　ソテツ
　　竹村彦　印ノ印人
　　竹之院　高木　竹鹿

　　春史
　　林磧
　　桐雲

　　校正ノ閲　　売鳥
　　竹村彦　扇　雪ノ印人
　　遠信閲　　若狭子
　　大廊下　　院松ノ巻
　　竹松所　　梅四季ノ山
　　竹村南所　竹之院　玉井　亀鶴
　　陳政

　　二三ノ閲　玉井　唐草　玉孫
　　頬院松ノ巻
　　頬ノ閲　　校合部
　　竹内人四季ノ山

　　春雨
　　永真
　　対記
　　月

　　永真

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

月次同　　秩父宗
除人同　　矜持
仙之同　　二カキ薗
地誌乃　　芦叭ん
地次乃　　賜よふ
地物誌同　　てこ
同次ノ乃　　ツシ
二十人　歩禾　　水乎
水平
行成廊下　　竹雀
地料次乃　　花乎

右並

野野沼幸つ
同利右乃つ
一陵
要之門等徴
信悦
意里沽物
採志
書林

同次ノ乃　二乃て　琴碁
林和清白歌ニ
行庭同　二乃て　聖賢碁
二の人　二次西ノ小ノ人　四季の山雪山水　採志
同二ノ同　同　永真
二人二水仙ニ　志井山水枯枝押
除すこ除つろ〳〵
同三ノ同　道甲茶
地同　二水乎
地林並同

採めろ　づ〳〵よ　ろめ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

市寺殿　市上殿　市下殿　無限
同　同　遠平
市上殿　姫御前
市北殿　市下殿　市上殿　姫御前
市指物堂　遠平
市家人
市上殿　旅つくし
市下殿　松平つくし
市北殿

市上殿
内近
大学
阿波
玉殿
年人

宝暦二年酉ノ十一月廿三日朝ノ七半時
北ノ御門ノ内ノ出火ニ而
通横矢櫓ノ内ノ東ノ方ノ
一棟焼失ス

松平勘解由殿
松民部少輔
同
河内守
青山因幡守
織田長門守
松平越後守
松平伊豆守

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3

ガラス使用

蓮厚院末寺屋敷
〃　村伴右衛門
青山下野守組町
同　不埒門町
同　久兵衛町
右同断
〃　和田長平
〃　小沢作兵衛
〃　秋葉権現
〃　下村仁左衛門
右同断
〃　中村五右衛門
〃　東田久右衛門
〃　栗原みち
〃　村和右衛門
〃　北田喜助
〃　赤村彦兵衛
〃　西井龍門
〃　中岡みち平
〃　中沢右衛門
〃　倉井政右衛門
〃　右場勘之丞
〃　清水平八
〃　右場右衛門
〃　村田新三郎
〃　柳田松平次
〃　文二
〃　入山平右衛門
〃　長屋喜兵衛
〃　子持右平次

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

〃　高谷孫平
〃　川井十右衛門
〃　玉子　大右
〃　右田三郎右衛門
〃　篠沢理之助
〃　関郎　大隅
〃　篠沢将監
〃　四平　助八郎
〃　山角　庄七

〃　寺本伊七
〃　萩郎　孫七
〃　小郎　大助
〃　右衛門
〃　西高手八
〃　星郎　伊之助
〃　右田久左衛門
〃　細谷八平へ
〃　右門まち

〃　金子孫之丞
〃　曽我庄右衛門
〃　猪俣清之助
〃　細井吉左衛門
〃　中村忠助
〃　竹内兵助
〃　長尾助八郎
〃　梶塚平八郎
〃　小林元助
〃　坂本伊右衛門

〃　内藤七郎
〃　萩郎　孫へ

〃　高山三郎兵衛
〃　玉子八郎右衛門
〃　松田大七
〃　辻右忠右衛門
〃　内藤十右衛門
〃　町田善助
〃　曽我助右衛門

国立国会図書館　三才雑録　特1000-3
ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

同本芳院坊町 右ゟ
表裏坊主
和井 寺野
同本四ツ家通り
青蓮寺 右ゟ
誓願寺 イナリ門前
法傳寺 陳家屋敷
中村通
二
同 玄寺
毛利元助
堂寺多ク沢 井町 玄ノ市
同 玄甫
同 右ゟ
陳家屋敷
中村 玄通
南門寺前ゟ甫
田中 玄通
同本玄町 右ゟ
本玉寺 安食寺
妙心寺 市田安
同本寺北坊ゟ通
中門ゟ南
同田将監
西川源 寺寺
唐梅寺
西芳院 南門下ゟ北
東福寺 塔頭
山田陳右衛門
西芳院ゟ南
東福寺 塔頭
宝田 玄ノ市
地面寺ノ市

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

市屋安　北側弁慶寺役
土場新寺町
同本多下野守殿
同長谷通り寺町北
同新発田下総守殿
同長福寺
同本多中務大輔殿
同仙台坂播州
市堂前
同鍋代町寺町北
同新鍋代町寺町北
同仙台坂播州

同本願寺前
古門前町
堂供江古寺之部
妻木
堂供西四丁目江
妻木
珍米市之部
寄合
戸田主殿
山内対馬守
桂村河内守
同本郷弾正大弼
同松平加賀守

同本願寺前
古門前町
堂供江古寺之部
妻木
堂供西四丁目江
妻木
珍米市之部
寄合
戸田主殿
山内対馬守
桂村河内守
同本郷弾正大弼
同松平加賀守

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

町通 一東松寺
〃 佐久間柵
〃 真山寺
〃 田中 寺町
〃 水谷 寺町
〃 飯田 半蔵
〃 東柳 玉泉寺
〃 吉川幸七
岸方 村田 吉左衛門

市谷 一 柳 伝左衛門
〃 池田久右衛門
〃 山崎 右京
〃 井桁 庄助
〃 長谷川 伝左衛門
〃 山崎 右京
〃 金像 春岑
市谷 池田 庄右衛門
〃 田中 元右衛門

一 西念 十念
〃 三浦 隆助
稲垣 周防守
下屋敷

周不 新町 寺町 一 竜雲院
周不 布村 町八町 一 称念寺
周不 御厩 新町 寺町 一 正行寺

一 西念 十念
〃 三浦 隆助
稲垣 周防守
下屋敷

周不 新町 寺町 一 竜雲院
周不 布村 町八町 一 称念寺
周不 御厩 新町 寺町 一 正行寺

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3
ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

二本榎西久保町本郷
教学院 ○余斗寺
境止り 信濃屋
麻布
追加類焼之分
二本榎 ○信濃屋
市兵衛
○信濃屋 金兵衛
長田 善三郎
同断 二本榎北新堀町
長田 善三郎
同断 ○善清
代雑費
本朝雑鈔巻一
寛文四年二月武者所之
衆等同被始之所ノ雑器垂布衾等

諸国勤之今日之事各右廿弁顕雅
奉行史

日次記　兼久二年記

内裏焼飯　飯廿杯菜廿種個二瓶子
文菓子二卅居
同臺盤所焼飯　竜日。同上但色目
不見個

劉向説苑

雑物篇

度量権衡以秦生之為一分十分為一寸
十寸為一尺十尺為一丈十丈為一引
二三為一銖二十四銖為一両十六両為一
斤三十斤為一鈞四鈞為一石千二百黍
為一龠十龠為一合十合為一升十升為
一斗十斗為一石

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

八章

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

右同断

東隊進発 西止支配
宿舎退去

東隊進発 去ル

右同断

西御屋敷御門
番解由申渡 左ノ通
今出川中納言
高倉右ノ宿舎
町鹿三位
同右ノ通

右同断

右同断

左ノ通 東隊警衛ノ備
西山御門ノ将
橋本刑ノ介備
裏松左少弁

宿舎 南中納言
柳原三位
宿舎 左ノ通

三親町侍従

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

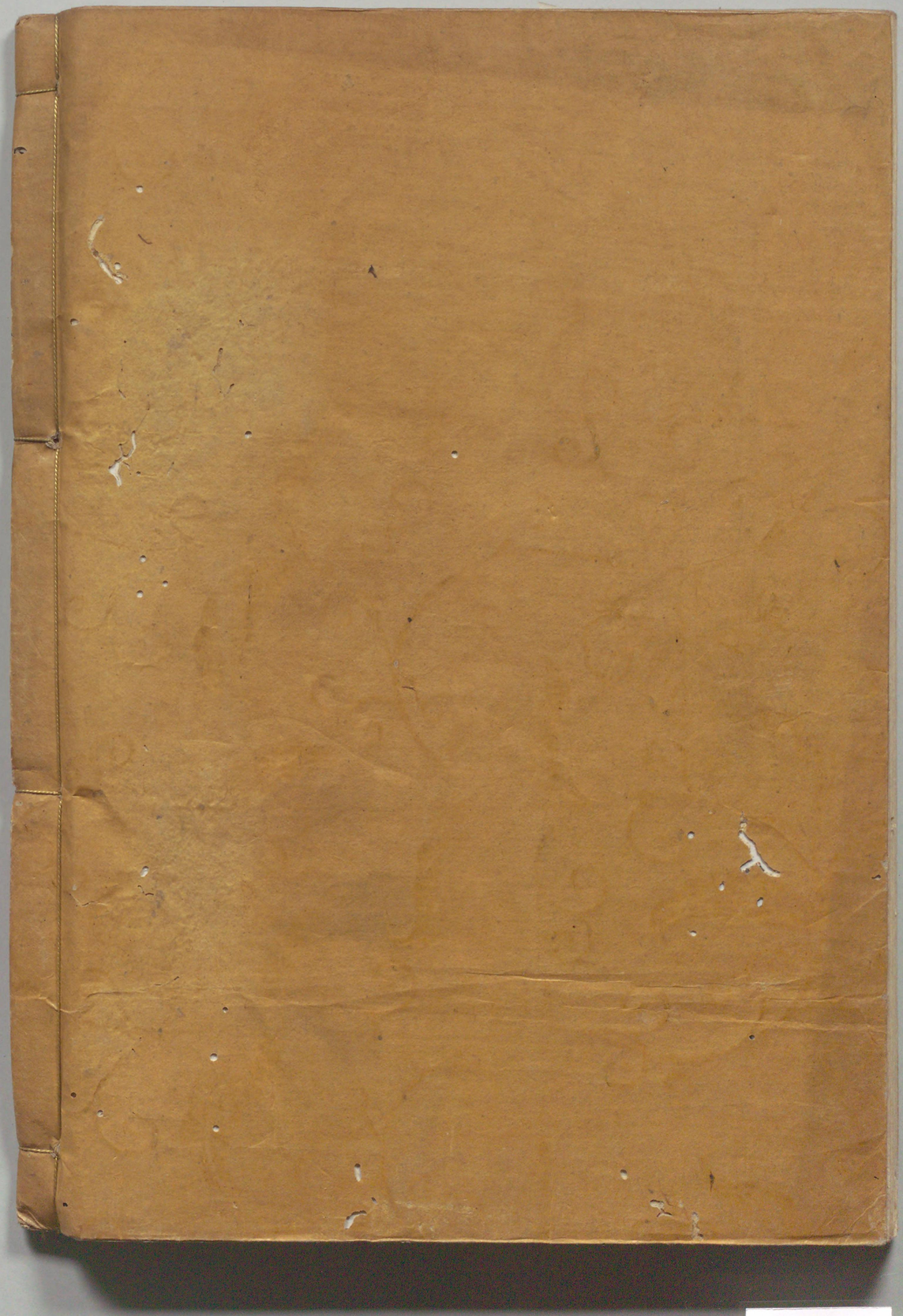
ガラス使用

1000
3

（朱）
其後右ノ牧ノ金キヲ見メルニ六月四日猪飼
左ヱ門ヨリ牧ノ儀ニ付テ手紙ヲ通尾塔
ニ多ク尾ガ付ノトアリテ是ニテモ牧ノ義
野州領ハ十一月ニ

国立国会図書館　三才雑録 特1000-3

ガラス使用



国立国会図書館　　三才雑録　特1000-3

ガラス使用